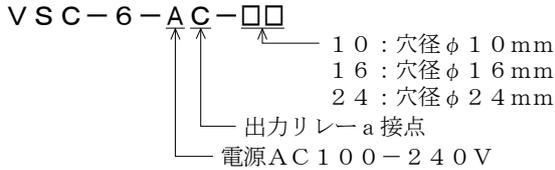


雷サージカウンタ

VSC-6-AC-□□

V3

形式



主な機能と特長

- ・アース線をサージセンサに通す(クランプ式)だけで誘導雷サージの回数を計数(6桁)します。
 - ・電源がOFFになっても動作回数を保持します。電源を再投入にて停電前の数値を表示します。
 - ・文字高さ8.5mmで大きく見やすい
 - ・手動リセットで操作が簡単
 - ・テストスイッチ付き(前面)で安心設計
 - ・小型で盤内に直付け、又はDINレールに取り付けが簡単です。
 - ・プラグイン構造に付きメンテナンスが簡単です。
 - ・検出電流の変更が簡単(裏面スイッチで切替)
- *10Aから100Aレンジは8/20μsで設定しています。

定格

- 検出電流 : 10A, 20A, 50A, 100Aの内2レンジ
- <指定例> 20A/50A (指定なしの場合10A/50A)
- 交流供給電源 : AC100V~240V 50/60Hz
- 許容変動範囲 90~110% 消費電力 約7VA
- 使用温度範囲 : -10~+55℃ 但し氷結しないこと
- 使用湿度範囲 : 35~85%RH 但し結露しないこと
- 取付 : 直付またはDINレール取り付け
- 寸法 : W50×H80×D126mm ソケット含む
- 重量 : 約300g
- 外部接続方法 : M3.5セムス ねじ締め端子(ソケット)
- 表示方式 : 7セグメント
- ネガタイプLCD(赤色バックライト付き)
- 桁数(文字高さ): 6桁(文字高さ8.5mm)
- 動作間隔 : 約1秒
- ケース外装 : 黒色ABS樹脂
- 絶縁抵抗 : 入力-電源間 100MΩ以上/DC500V
- 耐電圧 : 入力-電源間-大地間 AC2000V1分間
- 接点出力 : 無電圧a接点
- 2A DC30V 0.5A AC125V
- 出力ON時間 : 設定範囲50ms~500ms (出荷時250ms±2%)

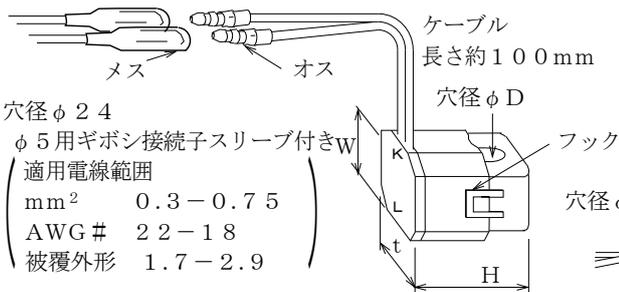
付属品

- クランプ式サージセンサ(端子付き) 1個
- 本体取り付け用ソケット(8PFA) 1個

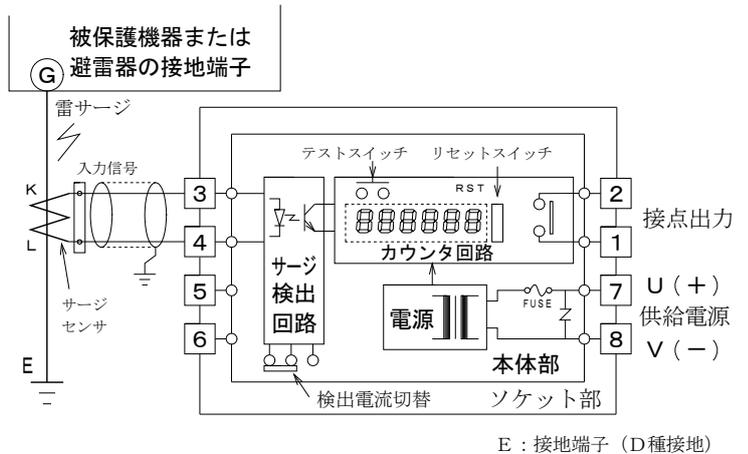
サージセンサ外形寸法図

- 穴径φ10 26W×38H×23t (脱着回数は概略100回程度)
- 穴径φ16 29W×45H×31t
- 穴径φ24 34W×64H×45t

⚠ 避雷針のアースには使用はしないでください。



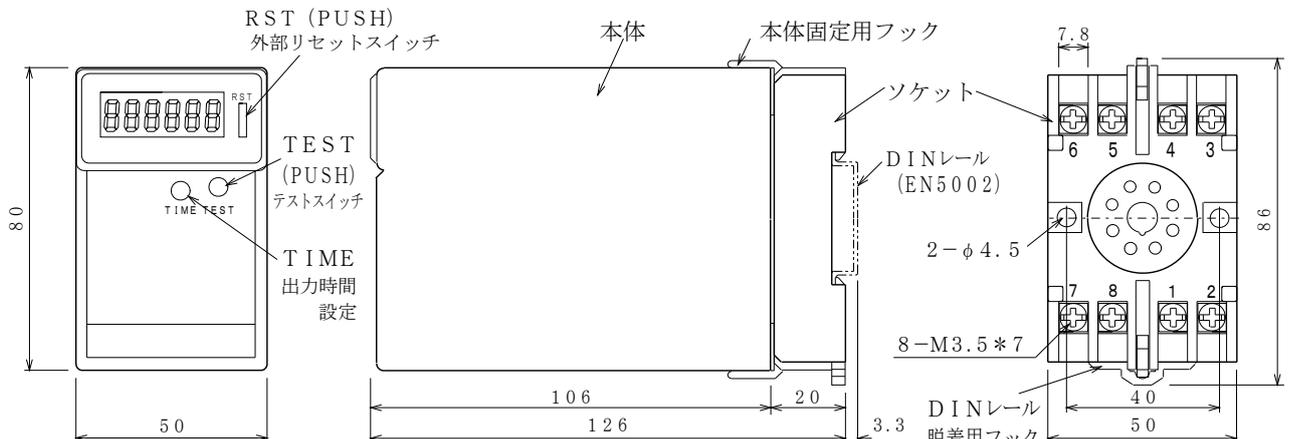
端子接続図



穴径φ10と穴径φ16用は専用コネクタ付属

(ケーブル寸法: AWG 22) (ハウジング材質: 黒色プラスチック(難燃性))

外形寸法図 (単位: mm)



■ 概要

本器は、誘導雷サージから機器を保護するにあたり、事前にどの程度影響を受けているのか状況を把握するためのカウンタです。この製品を安全に正しく使用していただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

■ お願い

- ①電源-入力間は絶縁しています。
入力端子には指定以外の部品を接続しないでください。
- ②取り付け時の注意
 - ・耐水性、耐油性では有りません。水気や油気をさけてください。
 - ・爆発性ガス、引火性ガスのあるところでは使用しないでください。
 - ・修理の際は販売店を通じて製造元に返送してください。 避雷針のアースには使用はしないでください。

■ 正しい使い方

①電源電圧はスイッチ、リレーなどの接点を介して定格電圧を一気に印加してください。

②自己診断機能について

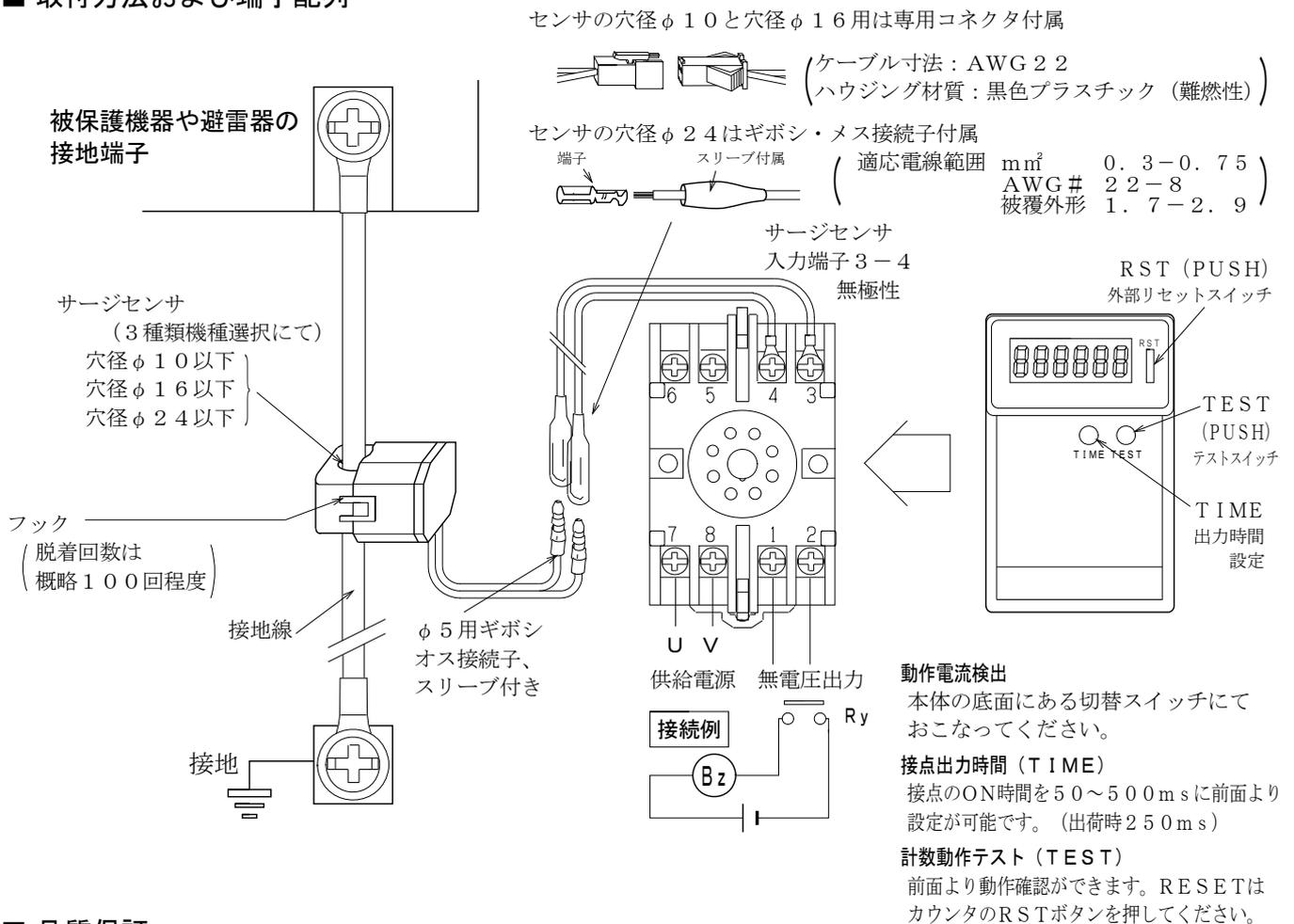
(異常が発生したときは右記の表示になります。)

表示	内容	復帰方法
	CPU異常	RST キーまたは電源再投入
	メモリ異常	

③下記の環境では使用しないでください。

- ・温度変化の激しい場所 ・振動の激しい場所 ・湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所。
- ・高圧電源付近や発電機、インバータなど強電磁界の多い場所。
- ・換気扇や蛍光灯のスイッチなどのノイズ源を避けて配線してください。

■ 取付方法および端子配列



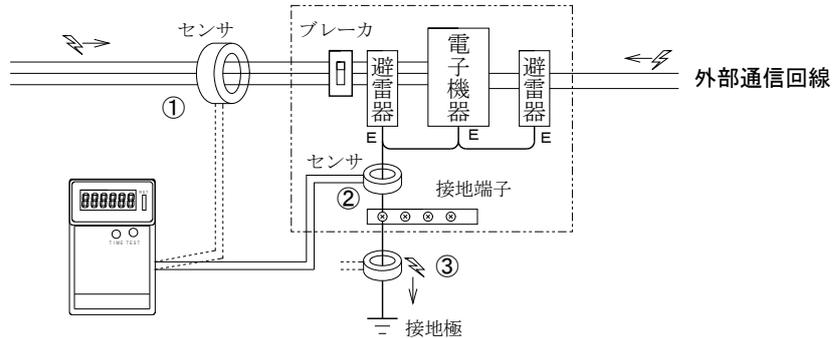
■ 品質保証

保証期間：ご購入後1年間の保証と致します。

保証条件：万一、当方の責任による不測の故障等が生じた場合、保証期間内において無償修理致します。但し、引取り修理とさせていただきます。

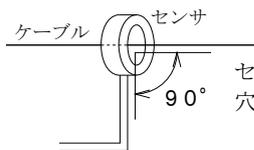
■ 設置方法

・電源ラインの場合



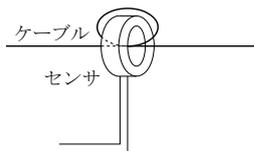
- ① 電源ラインは全線をクランプしてください。（常に位相がゼロであること）
- ② 避雷器の通過確認は接地端子のところでもクランプしてください。――（推奨）
- ③ 盤全体と接地間の場合は、接地端子以降でクランプしてください。
盤全体が建物の鉄骨などに取り付いている場合は、計数はできません。
また、避雷針、A種B種D種C種接地が同電位化されている場合は
高電圧側よりのノイズの影響により正しい計数ができないことがあります。

■ センサのつけ方



センサの穴に対して直角が望ましい。
穴径に対してケーブルが細い場合、ビニールテープやインシュロックなどで固定してください。

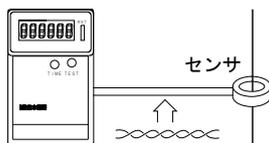
■ 設定よりさらに小さい雷サージを計数する方法



■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。

- ・近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
- ・換気扇などある場合、スイッチのON/OFFでノイズが発生します。
- ・パネル内用の蛍光灯のON/OFF時ノイズが発生します。



ツストペアケーブルにする
方法はノイズ対策に有効な
方法です。

（いずれも電波受信状態で防ぎようがありませんが、シールド線を使用するか、
センサの2本のケーブルをツイスト（捻じる）することで多少軽減できる
こともあります。）